

# 株主の皆様へ

第140期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで



株式会社 豊田自動織機

TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

(証券コード 6201)

## 目次

株主の皆様へ	1
連結業績の概況	1.2
事業別の概況	3.4
連結決算	5.6
連結財政状態計算書の概要	5
連結損益計算書の概要	6
中間配当について	
トピックス	7.8
株式の状況	9
会社の情報	9
株式についてのご案内	10

## 表紙の写真



エアジェット織機  
「JAT810」



RAV4の生産



電動コンプレッサー  
「ESB20」



電動フォークリフト  
「gene B (ジェネビー)」

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第140期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

世界経済は、先行きに不透明感はあるものの、総じて堅調に推移しました。こうしたなか当社は、品質第一に徹してお客様の信頼にお応えするとともに、商品ラインナップの拡充や積極的な販売活動に取り組み、当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から9月30日までの6か月間)の業績につきましては、増収増益となりました。

中間配当金につきましては、前期の中間配当金から1株につき10円増配の70円とさせていただきます。

今後の持続的な成長に向けた取り組みでは、当社の強みである技術開発や生産技術での差別化によりモノづくり力に磨きをかけ、商品競争力を一層強化してまいります。

また、各市場のグローバルでの構造変化をとらえ、IoTやAI技術なども活用して新たな成長機会を取り込んでまいります。特に、産業車両部門では、電子商取引(eコマース)市場の拡大などの状況を踏まえ、物流ソリューション事業の強化に取り組んでおります。一方、自動車関連では、環境、安全、低燃費、電動化などの分野で研究開発を一段と強化していく計画です。

このように、産業車両や自動車関連などの事業を営むメリットを活かして新たな価値を創造し、お客様に提供していきたいと考えております。

さらに、安全をすべてに優先させた職場作り、法令の遵守をはじめとしたコンプライアンスの徹底はもとより、社会貢献活動へも積極的に参画するなど、広く社会の信頼に応え、社会との調和ある成長をめざしてまいります。地球環境保全に対しては、2050年のCO<sub>2</sub>ゼロ社会を見据えた取り組みをグループ全体で進めていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を1,355億円(17%)上回る9,379億円となりました。利益につきましては、原材料の値上がり、人件費の増加などがありましたものの、営業面の努力、為替変動による影響、グループあげての原価改善活動の推進に加え、退職給付制度の変更影響により、営業利益は前年同期を161億円(26%)上回る770億円、税引前利益は前年同期を227億円(26%)上回る1,103億円、

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期を162億円(25%)上回る808億円となりました。また、1株当たり四半期利益は前年同期を54円上回る260円となりました。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、連結売上高1兆9,500億円、営業利益1,450億円、税引前利益2,040億円、親会社の所有者に帰属する当期利益1,420億円にそれぞれ修正しております。

為替レートにつきましては、通期で1USドル111円、1ユーロ126円を前提としております。

2017年11月

取締役会長 豊田鐵郎 取締役社長 大西 朗



取締役会長  
豊田鐵郎

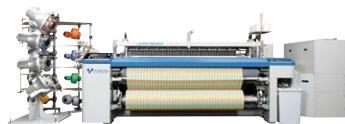


取締役社長  
大西 朗



## 繊維機械

繊維機械におきましては、織機は減少したものの、紡機や繊維品質検査機器が増加したことにより、売上高は前年同期を15億円(5%)上回る300億円となりました。



▲エアジェット織機 JAT810



## 産業車両

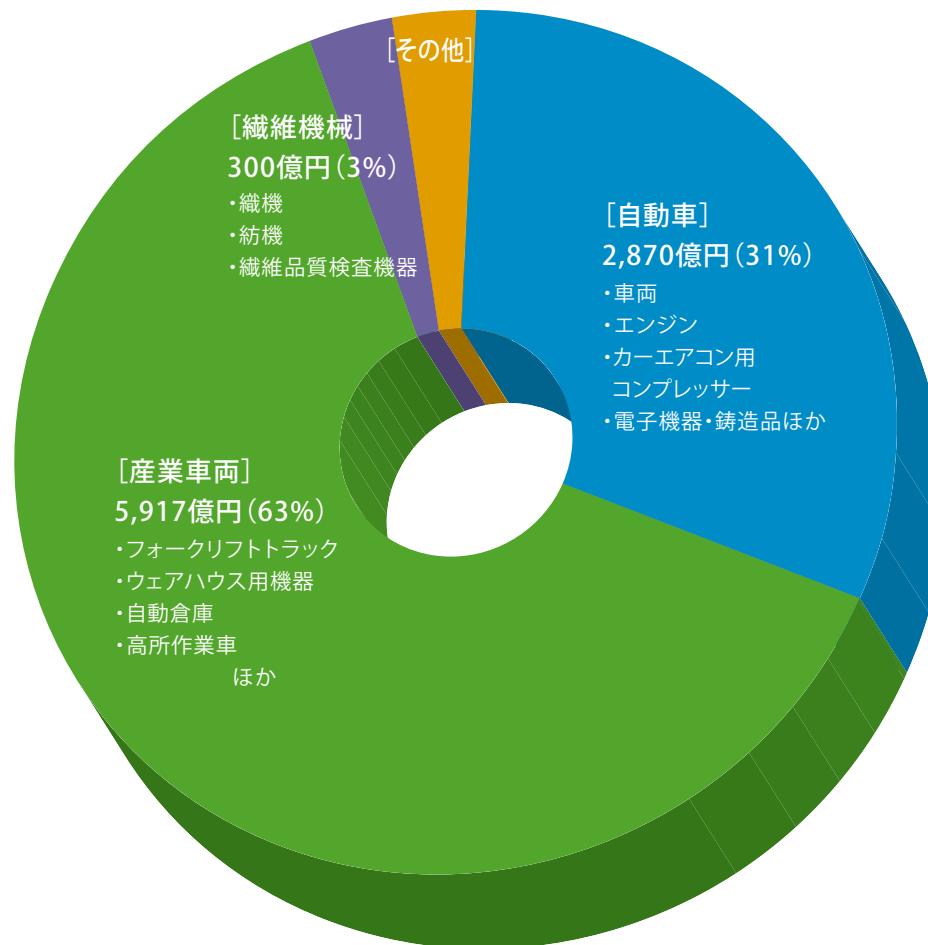
産業車両におきましては、堅調な世界経済に支えられ、市場は緩やかな成長が続いています。こうしたなか、当社は、高品質な商品の開発をはじめ、アフターサービスや販売金融などバリューチェーン全体で事業を強化するとともに、グローバルネットワークを活用した拡販に取り組みました。その結果、主力のフォークリフトトラックの販売台数が欧州・日本などで増加したことに加え、2017年4月にバスティアン ソリューションズ有限責任会社(米国)を、5月にファンダランデ インダストリーズ株式会社(オランダ)を子会社化したことにより、売上高は前年同期を1,195億円(25%)上回る5,917億円となりました。



▲電動フォークリフト「ジェネオエコア」

## 第2四半期 売上高構成 ( )は構成比

売上高 9,379億円



## 自動車

自動車部門におきましては、売上高は前年同期を123億円(4%)上回る2,870億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツ・RAV4とも増加したことにより、売上高は前年同期を6億円(2%)上回る353億円となりました。

エンジンにつきましては、AR型ガソリンエンジンやGD型ディーゼルエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期を16億円(4%)上回る468億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、販売台数が日本・中国で増加したことにより、売上高は前年同期を55億円(3%)上回る1,704億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、電子機器・鋳造品とも増加したことにより、売上高は前年同期を45億円(15%)上回る343億円となりました。



▲RAV4ハイブリッド



▲GD型ディーゼルエンジン



▲カーエアコン用電動コンプレッサー



▲DC-DCコンバーター

# 連結決算

## 連結財政状態計算書の概要 (単位:百万円)

	前期末 2017年3月31日現在	当第2四半期末 2017年9月30日現在	増減
<b>資産</b>			
流動資産	1,322,420	1,352,278	29,858
非流動資産	3,235,791	3,748,697	512,906
<b>資産合計</b>	<b>4,558,212</b>	<b>5,100,975</b>	<b>542,763</b>
<b>負債及び資本</b>			
<b>負債</b>			
流動負債	810,603	972,924	162,321
非流動負債	1,431,140	1,555,193	124,053
<b>負債合計</b>	<b>2,241,744</b>	<b>2,528,117</b>	<b>286,373</b>
<b>資本</b>			
親会社の所有者に帰属する持分			
資本金	80,462	80,462	—
資本剰余金	105,417	105,500	83
利益剰余金	954,503	1,013,488	58,985
自己株式	▲59,272	▲59,278	▲6
その他の資本の構成要素	1,159,181	1,353,433	194,252
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,240,293	2,493,607	253,314
非支配持分	76,174	79,251	3,077
<b>資本合計</b>	<b>2,316,467</b>	<b>2,572,858</b>	<b>256,391</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>4,558,212</b>	<b>5,100,975</b>	<b>542,763</b>

2016年度末より国際会計基準(IFRS)を適用しています。

## 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

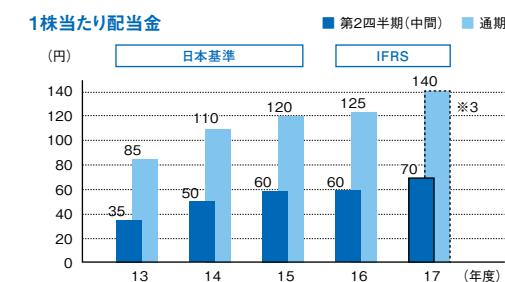
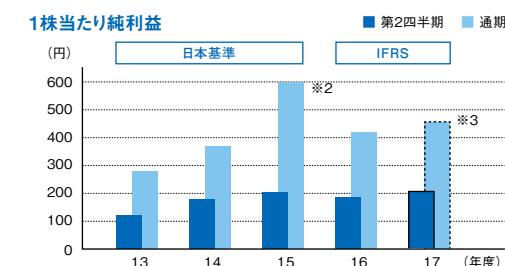
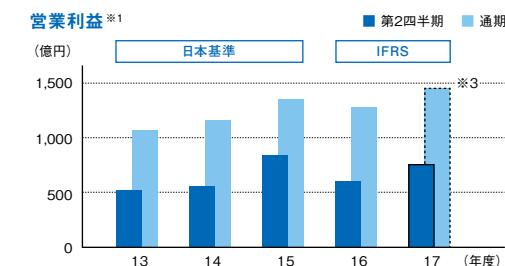
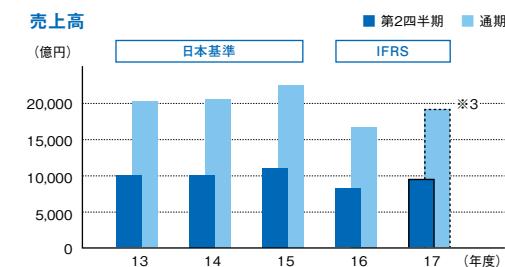
	前第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当第2四半期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	増減
売上高	804,449	937,936	133,487
営業利益	60,996	77,024	16,028
税引前利益	87,603	110,316	22,713
純利益	64,685	80,879	16,194

(注) 当第2四半期の営業利益には、退職給付制度の変更による一過性の影響143億円を含んでいます。

## 中間配当について

2017年10月31日開催の当社取締役会決議により2017年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金	効力発行日ならびに支払開始日
1株につき70円	2017年11月27日



※1: 2015年度以降、産業車両の販売金融事業の営業外金融収支を営業内へ組み替えております。

※2: 2015年度は、子会社株式の売却に伴う特別利益を計上しております。

※3: 2017年度の通期業績および年間の配当金については見込みです。

2016年度末より国際会計基準(IFRS)を適用しており、2016年度第2四半期もIFRSベースに組み替えて表示しています。

## グローバルで物流ソリューション事業を強化

近年、インターネットを介したeコマースのグローバルでの拡大に伴い、増大する物流量を効率的に処理するニーズが高まっています。

こうしたなか、当社は、世界シェアNo.1<sup>※1</sup>のフォークリフトに加え、新たな事業領域としてお客様の物流課題の解決策をシステムで提供する物流ソリューション事業の強化に取り組んでいます。2017年4月、5月にそれぞれバスティアン社およびファンダランデ社を子会社化しました。

今後、当社とバスティアン社、ファンダランデ社が連携し、各社の強みを活かしながらグローバルで物流ソリューション事業の拡大・強化をはかっていく計画です。

※1 自社調べ



▲ファンダランデ社による手荷物搬送システム(ロンドン・ヒースロー空港)

## 「トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪」を新設

当社は、国内において、フォークリフト販売60年、物流システム販売30年の経験を通じて培った物流ノウハウと豊富な商品ラインナップを活かし、積極的な拡販に努めた結果、2016年のフォークリフト販売台数は51年連続でNo.1<sup>※2</sup>を達成しました。

こうした強みをもとにより多くのお客様に最適な物流ソリューションを提案、体験いただくため、当社は大阪府吹田市に「トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪」の新設を決定し、2018年5月の竣工を予定しています。今後もトヨタL&Fは、豊富な商品ラインナップと業界最大の販売・サービスネットワークで、お客様に最適な物流環境の構築をサポートしていきます。

※2 日本産業車両協会の発行するデータをもとに、自社調べにて算出



▲トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪(完成予想図)

## トヨタ燃料電池車(FCV)「MIRAI」に搭載 酸素供給エアコンプレッサー — 文部科学大臣表彰 科学技術賞開発部門を初受賞 —

当社が開発し、トヨタ自動車のFCV「MIRAI」に搭載されている酸素供給エアコンプレッサーが「平成29年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞開発部門」を初受賞しました。これは、世界初<sup>※3</sup>となる6葉ヘリカルルーツ式ローターを採用し、低速域から高速域まで最適な空気の圧縮が可能となり、車両の加速性能と航続距離<sup>※4</sup>の向上に寄与したことがFCVの一般向け発売に貢献したと高く評価されたものです。

今後も水素社会実現に向け、FCV搭載製品の性能向上を通じてFCVの普及・拡大に取り組んでいく考えです。

※3 自社調べ ※4 水素1充填当たりの走行可能距離



▲燃料電池車用酸素供給エアコンプレッサー

## カーエアコン用コンプレッサーの世界累計生産台数5億台を達成

当社は2017年6月、カーエアコン用コンプレッサーの世界累計生産台数5億台を達成しました。お客様に快適な車室内空間をご提供するため、これまでに世界初となるさまざまな商品を開発し、2017年度には、日本・米国・ドイツ・中国・インドネシアの生産拠点を合計3,350万台の生産を計画しています。

今後もお客様の新しい時代を創造する商品の開発と高品質なモノづくりに取り組んでいきます。

## 当社が「準なでしこ」企業に選定

### — 女性活躍を推進し、将来の成長が期待される企業として選ばれる —

経済産業省と東京証券取引所が女性活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定する取り組みにおいて、当社は、「なでしこ銘柄」に次ぐ「準なでしこ」企業に選定されました。当社は、これまで多様な人材が多様な働き方で活躍できる職場づくりに向け、育児・介護および配偶者の転勤による退職者の再雇用制度、育児のための時短勤務制度の導入など、仕事と家庭の両立支援策の拡充を進めてきました。あわせて管理職を含めた全社員の意識改革や女性のキャリア支援に取り組んでいます。

今後も社員一人ひとりが生き生きと働き、能力を最大限に発揮できる制度と環境づくりを継続的に進めていきます。

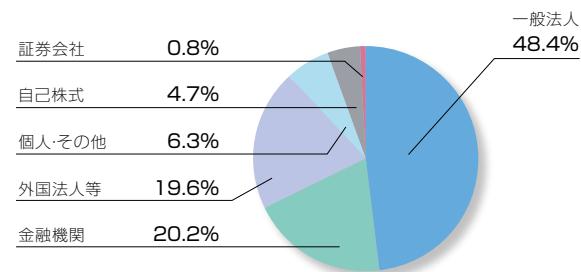


▲係長職女性キャリア形成研修

## 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	310,488,201株 <small>(自己株式 15,352,439株を除く)</small>
株主数	15,788名

## 所有者別株式の状況



## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	76,600
株式会社デンソー	29,647
東和不動産株式会社	16,291
豊田通商株式会社	15,294
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,162
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,167
アイシン精機株式会社	6,578
日本生命保険相互会社	5,922
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,903
豊田自動織機従業員持株会	4,159

(注)当社は、自己株式(15,352千株)を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。

## 会社の情報 (2017年9月30日現在)

設立	1926年11月18日	従業員数	連結 59,521名、単独 13,893名
資本金	804億円	本社所在地	〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL 0566-22-2511(代表)

### 取締役

取締役会長	豊田 鐵 郎
取締役社長	大西 敏 文
取締役副社長	佐々木 一 衛
取締役副社長	古川 真 也
取締役副社長	鈴木 雅 晴

取締役	佐々木 卓 夫
取締役	山 本 卓 幹
取締役	隅 修 三
取締役	山西 健 一 郎
取締役	加藤 光 久

### 執行役員

常務役員	土本 幸 久
常務役員	伊藤 天
常務役員	山岸 俊 哉
常務役員	岡本 幹 彦
常務役員	水野 陽 二 郎
常務役員	川口 真 広
常務役員	石崎 裕 二
常務役員	原 敬 三
常務役員	栗本 清 次
常務役員	國遠 正 章
常務役員	志水 敏 彦
常務役員	伊藤 浩 一

常務役員	河井 康 司
常務役員	粥川 浩 明
常務役員	稲川 透
常務役員	松本 洋
常務役員	大年 浩 太
常務役員	若林 紀 雄
常務役員	枘岡 一 成
常務役員	熊倉 和 生
常務役員	松田 裕 昭
常務役員	一条 恒
常務役員	安井 伸 友
常務役員	杉本 俊 示
常務役員	宮島 久 典

### 監査役

常勤監査役	小河 俊 文
常勤監査役	野崎 晃 平

監査役	ハスニー・マルクス
監査役	伊地 知 隆 彦
監査役	水野 明 久

### 執行役員 ※取締役を兼任

専務役員	佐々木 卓 夫*
専務役員	大西 敏 文
専務役員	大塚 幹*

専務役員	山本 卓*
専務役員	福永 恵 一
専務役員	原田 淳 一

## 株式についてのご案内

- 事業年度  
4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会  
6月
- 配当金支払株主確定日  
3月31日  
なお、中間配当を実施するときは9月30日
- 株主名簿管理人・特別口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
TEL 0120-232-711(通話料無料)

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(100株未満)については市場で売買できません。

ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

- 単元未満株式**買取**制度 単元未満株式を**当社にご売却**いただくことができます。
- 単元未満株式**買増**制度 単元株式(100株)にするために、不足分を**当社からご購入**いただくことができます。お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)までお問い合わせください。

## 特別口座の株式について

「特別口座」の株式は、単元株式(100株)であっても、特別口座のままでは市場で売買できません。

「特別口座」にご所有の単元株式について売買をお考えの場合は、「特別口座」から「証券口座」への株式のお振替をお願いいたします。

お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

## 株式に関するお手続きのお問い合わせ先

株式に関する各種お手続きの窓口につきましては、株主様の株式の所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

ご所有されている株式の口座区分	お問い合わせ先
特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
証券口座	口座を開設されている証券会社※

※：未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

この中間報告書に含まれる将来に関する記述は、現在において入手可能な情報に基づき記載されたものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に係るリスクや不確実性により、記述と大きく異なる可能性があります。

第44回技能五輪国際大会 (2017年10月14日～19日、アラブ首長国連邦アブダビ)  
「溶接」職種で銀メダルを獲得



笠城 絢也 (かさぎじゅんや) 選手

 **株式会社 豊田自動織機**  
TOYOTA TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL 0566-22-2511 (代表) FAX 0566-27-5650  
ホームページ <https://www.toyota-shokki.co.jp/>